

対象国の条件 : 全世界

研修コース番号 : J1804220

案件番号 : 1884747

主分野課題 : 自然環境保全/その他自然環境保全

副分野課題 :

使用言語 : 英語

**案件概要**

開発途上国における森林減少・劣化等からの温室効果ガス排出削減 (REDD+) を推進するため、国際的な枠組みと要件を踏まえて、自国の状況に基づく政策立案・同実施を担うことが出来る人材を育成する。

**目標/成果**

**対象組織/人材**

**【案件目標】**

REDD+に関連する幹部職員が、自国の状況に応じたREDD+実施促進のための方策を理解し、必要な外部資金を調達・活用し、効果的に実施促進する能力を獲得する。

**【対象組織】**

REDD+における政策策定に関わる中央政府

**【成果】**

- (1) REDD+実施に求められる政策的・制度的・技術的な要件を体系的に理解し、自国が今後整備すべき事項を把握できる。
- (2) 自国の森林や社会の状況、REDD+実施上の留意事項を踏まえたうえで、自国におけるREDD+の効果的なアプローチを検討できる。
- (3) REDD+の成果払いのための資金動員メカニズム（国際的基金（GCF、FCPF等）、二国間オフセット・クレジット制度、自主的市場等）の特徴および手順を理解する。
- (4) 自国の状況に基づいた当該国のREDD+準備・実施のための向こう5年間のアクションプラン（RAP）を提案することができる。

**【対象人材】**

現在もしくは将来、REDD+の政策立案、制度整備、及び施策実施に携わる中央政府行政幹部職員

**内 容**

1. 事前活動

カントリーレポートの作成（約束草案（INDC）、温室効果ガス（GHG）インベントリ、自国の森林状況、REDD+に関する国家政策・戦略、REDD+実施体制・予算、REDD+進捗状況（国家森林モニタリングシステム、セーフガード、FREL）及び資金源・他ドナーの支援状況、REDD+に係る今後の計画等の情報含む）

**本邦研修期間**

2018/5/29～2018/6/9

**担当課題部**

地球環境部

2. 本邦研修

- (1) REDD+進捗に係る各国状況の共有
- (2) 講義：パリ協定など近年の気候変動枠組条約やその他REDD+に関する動向、留意事項
- (3) 講義：REDD+実施のための要件（MRV、SG）
- (4) 講義：主な資金メカニズム（GCF、FCPF、二国間オフセット・クレジット、JCM等）
- (5) ワークショップ：自国の分析とREDD+取組のポイントの解説
- (6) ワークショップ：RAP作成および発表、講評
- (7) 視察：国有管理の現場視察

**所管国内機関**

JICA東京（経済環境）

**関係省庁**

農林水産省

**実施年度**

2017～2019

**主要協力機関**

国際緑化推進センター

**特記事項  
及び  
ホームページ**